

情報モラルを成功させるポイント

—はじめよう！情報モラル教育！—

北区立赤羽台西小学校 主幹 野間俊彦

noma@net-moral.jp

<http://www.kita-kyo.ed.jp/~es32>

キーワード：小学校，情報教育，情報モラル教育，情報モラル指導

1. はじめに

インターネットやケータイが子どもたちの間に急速に普及している。便利な面も多いが、インターネットの大きな特性である匿名性や非対面性により、トラブルもたくさん起こっている。新しい内容だけに家庭で教育するというのはなかなか難しく、情報教育、メディアリテラシーの面からも情報モラル教育が学校に強く求められていると言えるだろう。こうしている間にも、子どもたちは被害者や加害者になっているかもしれない。それほど急務なことである。多くの先生も情報モラル指導が必要だと考えながらも、そろって口にするのは、「何を教えていいのかわからない」「どういう授業の進め方をすればいいのかわからない」「教えるための教材がない」という3つの理由であり、それらが大きなカベになって情報モラル教育が進んでいない。

勤務校で情報モラル教育を始めようとしたのは平成12年度だった。当時は先行事例もほとんどなく、教えた内容はいくつかあるものの、上の3つのカベと同じようにどうしてよいかかわからず、ずいぶん悩んだものだった。あれから5年が過ぎ、実践事例やノウハウも蓄積されてきたので、この機会に広く伝えたいと考えた。

2. 学校として取り組むために

情報モラル教育は得意な教師が一人で行うところから始めるのも何もしないよりよいが、できるだけ学校全体として取り組む方が広がりや定着が期待できる。そのために必要だと思われることを次にあげるが、これらがそろわないと情報モラル指導ができないというわけではない。できるところからでも、とにかく始めてみようという姿勢が大切である。

・情報モラル指導実施までのスケジュール

今はいい教材や指導事例が多く、それらを使えばすぐにも授業ができるが、学校で取り組むためには見直しをもつ必要がある。また、担当する委員会など組織で動くことと進めやすい。

・教員の知識や意識を高めるための資料収集や研修会

教員自身に情報モラル指導の必要性を感じさせることが何よりも重要になる。そのための研修や勉強会などもスケジュールに組み込むとよい。

・「情報モラル」の分類・整理

情報モラル指導には様々な内容が含まれる。勤務校では「情報モラル、ネットマナー」などの情報倫理的な内容と、「ネットルール、セキュリティ」などの情報安全的な内容に分類しているが、それぞれの学校独自の分類でかまわない。

・児童の実態把握

児童の情報機器環境は地域によって差があるため、各種の調査結果がそのまま当てはまるとは限らない。自分の学校の実態を把握するために、時期を決めて実態アンケートを取ることが必要になる。

・情報モラル教育年間指導計画

指導内容と児童の実態が把握できたら、実態に合わせた年間指導計画を作成する。

・指導する時間の設定

情報モラル指導は教科の中でも実施することができるが、教科のねらいと混乱することもあるので、総合的な学習の時間の方が扱いやすい。勤務校では年間35時間「情報の学習」を設定し、その中で情報モラル指導を実施している。

・指導略案や導入教材の収集・作成

情報モラル指導はすべての教員が行うことが望ましい。そのためには指導略案や導入教材を残しておくこととよい。プレゼンテーション作成ソフトで文字とイラスト等を使って制作すれば学校独自の提示スライド教材ができるが、インターネットで公開されている教材を利用することもできる。「情報モラル」と検索すると、指導略案や導入教材がたくさん入手できる。

・家庭との連携

子どもたちのスキルや環境は様々なので、学校での情報モラル教育の内容を保護者に説明しておき、保護者の理解と協力を得る必要がある。説明には学習会の開催、プリントでの配布などが考えられる。

●参考

○情報モラル指導年間計画

年	学期	ネットモラル		ネット安全	
		モラル	マナー	ルール	セキュリティ
4年	1		電子メールのマナー		
	2	読みやすい情報を考えよう			
	3	正しい情報を考えよう			
5年	1			著作物を探そう	個人情報を守ろう
	2	情報社会の仕組みを知ろう	ケータイマナークイズ		
	3	掲示板を正しく使おう			危険なサイトに注意しよう
6年	1		チェーンメールは迷惑メール		
	2	文字だけのコミュニケーションを考えよう		著作権を保護しよう	
	3	正しく豊かな情報社会をつくらう			こわいネット上の出会い

○指導略案例

5年 『文字だけのコミュニケーションを考えよう』

●指導の流れ

掲示板やメールの便利な点をあげさせる。

導入教材を提示し、この後はどうなるかと、なぜこうなるのかを発言させる。

文字だけのコミュニケーションをするときに、トラブルにならないためにはどんなことに気をつけるかをグループで話し合い、代表者に発表させる。

意見を整理してまとめる。
今日の学習で学んだことをワークシートに記入させる。

●留意点

・ここでは、掲示板やメールの利点に気づかせる。

・ケンカになりそうだという発言が出ればよい。
・顔が見えないから、自分がばれないからなどに気づかせたい。

・できるだけ具体的な方法を考えるように助言する。
・グループ内で出た意見は、すべて発表させる。

・メールや掲示板は便利だけど、気持ちが伝わるように気をつけて使いたい、という感想を期待したい。